

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成23年8月11日(2011.8.11)

【公表番号】特表2009-543788(P2009-543788A)

【公表日】平成21年12月10日(2009.12.10)

【年通号数】公開・登録公報2009-049

【出願番号】特願2009-519562(P2009-519562)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/4412 (2006.01)

A 6 1 K 31/4196 (2006.01)

A 6 1 K 31/506 (2006.01)

A 6 1 K 31/7048 (2006.01)

A 6 1 P 31/10 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 31/4412

A 6 1 K 31/4196

A 6 1 K 31/506

A 6 1 K 31/7048

A 6 1 P 31/10

【手続補正書】

【提出日】平成22年6月30日(2010.6.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

少なくとも1つの鉄キレート化合物またはその医薬上許容され得る塩および少なくとも1つの抗真菌剤またはその医薬上許容され得る塩を含む、組成物。

【請求項2】

前記鉄キレート化合物が、デフェリプロンまたはデフェラシロクスを含む、請求項1記載の組成物。

【請求項3】

前記抗真菌剤が、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキサンディン抗真菌剤を含む、請求項1記載の組成物。

【請求項4】

前記ポリエン抗真菌剤が、アンホテリシンBデオキシコール酸塩、リポソームアンホテリシンB、アンホテリシンB脂質複合体またはアンホテックから選択される、請求項3記載の組成物。

【請求項5】

前記アゾール抗真菌剤が、ボサコナゾール、ボリコアゾール(voriconazole)、フルコナゾールまたはイトラコナゾールから選択される、請求項3記載の組成物。

【請求項6】

前記エキノキヤンディン抗真菌剤が、カスボファンギン酢酸塩またはミカファンギンから選択される、請求項3記載の組成物。

【請求項7】

2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物をさらに含む、請求項1記載の組成物。

【請求項8】

前記2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物が、デフェリプロンおよびデフェラシロクスを含む、請求項7記載の組成物。

【請求項9】

2つまたはそれ以上の抗真菌剤をさらに含む、請求項1記載の組成物。

【請求項10】

前記2つまたはそれ以上の抗真菌剤が、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキヤンディン抗真菌剤から選択される、請求項9記載の組成物。

【請求項11】

前記抗真菌剤が、アンホテリシンBデオキシコール酸塩、リボソームアンホテリシンB、アンホテリシンB脂質複合体、アンホテック、ポサコナゾール、ボリコアゾール、フルコナゾール、イトラコナゾール、カスボファンギン酢酸塩またはミカファンギンから選択される、請求項10記載の組成物。

【請求項12】

治療有効量の前記鉄キレート化合物、前記抗真菌剤またはそれらの両方をさらに含む、請求項1記載の組成物。

【請求項13】

医薬上許容され得る媒体をさらに含む、請求項1記載の組成物。

【請求項14】

真菌症を有するかまたは真菌症に感染し易い個体において真菌症を治療または予防するための組成物であって、治療有効量の少なくとも1つの鉄キレート化合物を含み、該鉄キレート化合物が、該真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む、組成物。

【請求項15】

前記真菌症が、接合真菌症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症、カンジダ症、ヒストプラズマ症、コクシジオイデス症、パラコクシジオイデス症、フザリウム症（ヒアロヒド真菌症）、プラストミセス症、ペニシリウム症またはスポロトリクス症を含む、請求項14記載の組成物。

【請求項16】

前記接合真菌症が、ムコール症をさらに含む、請求項15記載の組成物。

【請求項17】

前記ムコール症が、脳型ムコール症、肺ムコール症、胃腸ムコール症、播種性ムコール症、骨ムコール症、縦隔ムコール症、気管ムコール症、腎臓ムコール症、腹膜ムコール症、上大静脈ムコール症または外耳炎ムコール症を含む、請求項16記載の組成物。

【請求項18】

前記ムコール症が、ケカビ目内の感染性因子に関連する、請求項17記載の組成物。

【請求項19】

前記ケカビ目内の因子が、Rhizopus oryzae (Rhizopus arrhizus)、Rhizopus microsporus変種rhizophodiformis、Absidia corymbifera、Apophysomyces elegans、Mucor種、Rhizomucor pusillusおよびCunninghamhamella種(Cunninghamhamella科)からなるRhizopus種から選択される、請求項18記載の組成物。

【請求項20】

前記カンジダ症が、Candida albicans、Candida krusei、Candida tropicalis、Candida glabrataおよびC

andida parapsilosis からなる Candida 種から選択される感染性因子に関連する、請求項 15 記載の組成物。

【請求項 21】

前記アスペルギルス症が、 Aspergillus fumigatus、Aspergillus flavus、Aspergillus terreus、Aspergillus nidulans および Aspergillus clavatus からなる Aspergillus 種から選択される感染性因子に関連する、請求項 15 記載の組成物。

【請求項 22】

前記鉄キレート化合物が、 デフェリプロンまたはデフェラシロクスを含む、 請求項 14 記載の組成物。

【請求項 23】

2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物をさらに含み、 各鉄キレート化合物が、 前記真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む、 請求項 14 記載の組成物。

【請求項 24】

前記 2 つまたはそれ以上の鉄キレート化合物が、 デフェリプロンおよびデフェラシロクスを含む、 請求項 23 記載の組成物。

【請求項 25】

前記組成物が、 前記真菌症の発症の前に、 預防的に投与されることを特徴とする、 請求項 14 記載の組成物。

【請求項 26】

真菌症を有するかまたは真菌症に感染し易い個体において真菌症を治療または予防するための組み合わせ物であって、 治療有効量の少なくとも 1 つの鉄キレート化合物および少なくとも 1 つの抗真菌剤を含み、 該鉄キレート化合物が、 該真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む、 組み合わせ物。

【請求項 27】

前記真菌症が、 接合真菌症、 アスペルギルス症、 クリプトコッカス症、 カンジダ症、 ヒストプラズマ症、 コクシジオイデス症、 パラコクシジオイデス症、 フザリウム症（ヒアロヒド真菌症）、 ブラストミセス症、 ペニシリウム症またはスポロトリクス症を含む、 請求項 26 記載の組み合わせ物。

【請求項 28】

前記接合真菌症が、 ムコール症をさらに含む、 請求項 27 記載の組み合わせ物。

【請求項 29】

前記ムコール症が、 脳型ムコール症、 肺ムコール症、 胃腸ムコール症、 播種性ムコール症、 骨ムコール症、 縱隔ムコール症、 気管ムコール症、 腎臓ムコール症、 腹膜ムコール症、 上大静脈ムコール症または外耳炎ムコール症を含む、 請求項 28 記載の組み合わせ物。

【請求項 30】

前記ムコール症が、 ケカビ目内の感染性因子に関連する、 請求項 29 記載の組み合わせ物。

【請求項 31】

前記ケカビ目内の因子が、 Rhizopus oryzae (Rhizopus arrhizus)、 Rhizopus microsporus 变種 rhizophodiformis、 Absidia corymbifera、 Apophysomyces elegans、 Mucor 種、 Rhizomucor pusillus および Cunninghamhamella 種 (Cunninghamella 科) からなる Rhizopus 種から選択される、 請求項 30 記載の組み合わせ物。

【請求項 32】

前記カンジダ症が、 Candida albicans、 Candida krusei、 Candida tropicalis、 Candida glabrata および Candida parapsilosis からなる Candida 種から選択される感染性因子

に関連する、請求項 27 記載の組み合わせ物。

【請求項 33】

前記アスペルギルス症が、*Aspergillus fumigatus*、*Aspergillus flavus*、*Aspergillus terreus*、*Aspergillus nidulans*および*Aspergillus clavatus*からなる*Aspergillus*種から選択される感染性因子に関連する、請求項 27 記載の組み合わせ物。

【請求項 34】

前記鉄キレート化合物が、デフェリプロンまたはデフェラシロクスを含む、請求項 26 記載の組み合わせ物。

【請求項 35】

前記抗真菌剤が、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキヤンディン抗真菌剤を含む、請求項 26 記載の組み合わせ物。

【請求項 36】

前記ポリエン抗真菌剤が、アンホテリシン B デオキシコール酸塩、リポソームアンホテリシン B、アンホテリシン B 脂質複合体またはアンホテックから選択される、請求項 35 記載の組み合わせ物。

【請求項 37】

前記アゾール抗真菌剤が、ポサコナゾール、ボリコアゾール (voriconazole)、フルコナゾールまたはイトラコナゾールから選択される、請求項 35 記載の組み合わせ物。

【請求項 38】

前記エキノキヤンディン抗真菌剤が、カスボファンギン酢酸塩またはミカファンギンから選択される、請求項 35 記載の組み合わせ物。

【請求項 39】

2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物をさらに含み、各鉄キレート化合物が、前記真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む、請求項 26 記載の組み合わせ物。

【請求項 40】

前記 2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物が、デフェリプロンまたはデフェラシロクスを含む、請求項 39 記載の組み合わせ物。

【請求項 41】

2つまたはそれ以上の抗真菌剤をさらに含む、請求項 26 記載の組み合わせ物。

【請求項 42】

前記 2つまたはそれ以上の抗真菌剤が、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキヤンディン抗真菌剤から選択される、請求項 41 記載の組み合わせ物。

【請求項 43】

前記抗真菌剤が、アンホテリシン B デオキシコール酸塩、リポソームアンホテリシン B、アンホテリシン B 脂質複合体、アンホテック、ポサコナゾール、ボリコアゾール、フルコナゾール、イトラコナゾール、カスボファンギン酢酸塩またはミカファンギンから選択される、請求項 42 記載の組み合わせ物。

【請求項 44】

前記組み合わせ物が、前記真菌症の発症の前に、予防的に投与されることを特徴とする、請求項 26 記載の組み合わせ物。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

要旨

本発明は、少なくとも1つの鉄キレート化合物および少なくとも1つの抗真菌剤を含む、組成物を提供する。組成物は、鉄キレート化合物であるデフェリプロンまたはデフェラシロクスを含み得る。組成物に含まれる抗真菌剤には、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキサンディン抗真菌剤が挙げられ得る。本発明はまた、真菌症（fungal condition）を治療または予防する方法を提供する。方法は、真菌症を有するかまたは真菌症に感染し易い個体に、治療有効量の少なくとも1つの鉄キレート化合物を真菌症の重症度を減少させるのに十分な時間にわたって投与することを含み、鉄キレート化合物は、真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む。本発明により提供される真菌症を治療または予防する方法はまた、真菌症を有するかまたは真菌症に感染し易い個体に、治療有効量の少なくとも1つの鉄キレート化合物および少なくとも1つの抗真菌剤を投与することを含み得る。本発明によれば、真菌症の発症の前に、少なくとも1つの鉄キレート化合物または少なくとも1つの鉄キレート化合物および少なくとも1つの抗真菌剤を予防的に投与することを含む方法がさらに提供される。

本発明の好ましい実施形態では、例えば以下の組成物などが提供される：

（項目1）

少なくとも1つの鉄キレート化合物またはその医薬上許容され得る塩および少なくとも1つの抗真菌剤またはその医薬上許容され得る塩を含む、組成物。

（項目2）

前記鉄キレート化合物が、デフェリプロンまたはデフェラシロクスを含む、項目1記載の組成物。

（項目3）

前記抗真菌剤が、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキサンディン抗真菌剤を含む、項目1記載の組成物。

（項目4）

前記ポリエン抗真菌剤が、アンホテリシンBデオキシコール酸塩、リポソームアンホテリシンB、アンホテリシンB脂質複合体またはアンホテックから選択される、項目3記載の組成物。

（項目5）

前記アゾール抗真菌剤が、ポサコナゾール、ボリコアゾール（voriconazole）、フルコナゾールまたはイトラコナゾールから選択される、項目3記載の組成物。

（項目6）

前記エキノキサンディン抗真菌剤が、カスボファンギン酢酸塩またはミカファンギンから選択される、項目3記載の組成物。

（項目7）

2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物をさらに含む、項目1記載の組成物。

（項目8）

前記2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物が、デフェリプロンおよびデフェラシロクスを含む、項目7記載の組成物。

（項目9）

2つまたはそれ以上の抗真菌剤をさらに含む、項目1記載の組成物。

（項目10）

前記2つまたはそれ以上の抗真菌剤が、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキサンディン抗真菌剤から選択される、項目9記載の組成物。

（項目11）

前記抗真菌剤が、アンホテリシンBデオキシコール酸塩、リポソームアンホテリシンB、アンホテリシンB脂質複合体、アンホテック、ポサコナゾール、ボリコアゾール、フルコナゾール、イトラコナゾール、カスボファンギン酢酸塩またはミカファンギンから選択される、項目10記載の組成物。

（項目12）

治療有効量の前記鉄キレート化合物、前記抗真菌剤またはそれらの両方をさらに含む、項目1記載の組成物。

(項目13)

医薬上許容され得る媒体をさらに含む、項目1記載の組成物。

(項目14)

真菌症を治療または予防する方法であって、真菌症を有するかまたは真菌症に感染し易い個体に、治療有効量の少なくとも1つの鉄キレート化合物を真菌症の重症度を減少させるのに十分な時間にわたって投与することを含み、該鉄キレート化合物が、該真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む、方法。

(項目15)

前記真菌症が、接合真菌症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症、カンジダ症、ヒストプラズマ症、コクシジオイデス症、パラコクシジオイデス症、フザリウム症(ヒアロビオ真菌症)、blastomycosis、ペニシリウム症またはスポロトリクス症を含む、項目14記載の方法。

(項目16)

前記接合真菌症が、ムコール症をさらに含む、項目15記載の方法。

(項目17)

前記ムコール症が、脳型ムコール症、肺ムコール症、胃腸ムコール症、播種性ムコール症、骨ムコール症、縦隔ムコール症、気管ムコール症、腎臓ムコール症、腹膜ムコール症、上大静脈ムコール症または外耳炎ムコール症を含む、項目16記載の方法。

(項目18)

前記ムコール症が、ケカビ目内の感染性因子に関連する、項目17記載の方法。

(項目19)

前記ケカビ目内の因子が、Rhizopus oryzae(Rhizopus arrhizus)、Rhizopus microsporus変種rhizopodiformis、Absidia corymbifera、Apophysomyces elegans、Mucor種、Rhizomucor pusillusおよびCunninghamhamella種(Cunninghamhamella科)からなるRhizopus種から選択される、項目18記載の方法。

(項目20)

前記カンジダ症が、Candida albicans、Candida krusei、Candida tropicalis、Candida glabrataおよびCandida parapsilosisからなるCandida種から選択される感染性因子に関連する、項目15記載の方法。

(項目21)

前記アスペルギルス症が、Aspergillus fumigatus、Aspergillus flavus、Aspergillus terreus、Aspergillus nidulansおよびAspergillus clavatusからなるAspergillus種から選択される感染性因子に関連する、項目15記載の方法。

(項目22)

前記鉄キレート化合物が、デフェリプロンまたはデフェラシロクスを含む、項目14記載の方法。

(項目23)

2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物をさらに含み、各鉄キレート化合物が、前記真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む、項目14記載の方法。

(項目24)

前記2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物が、デフェリプロンおよびデフェラシロクスを含む、項目23記載の方法。

(項目25)

前記予防が、前記真菌症の発症の前に、前記少なくとも1つの鉄キレート化合物を予防的

に投与することを含む、項目 14 記載の方法。

(項目 26)

真菌症を治療または予防する方法であって、真菌症を有するかまたは真菌症に感染し易い個体に、治療有効量の少なくとも 1 つの鉄キレート化合物および少なくとも 1 つの抗真菌剤を真菌症の重症度を減少させるのに十分な時間にわたって投与することを含み、該鉄キレート化合物が、該真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む、方法。

(項目 27)

前記真菌症が、接合真菌症、アスペルギルス症、クリプトコッカス症、カンジダ症、ヒストプラズマ症、コクシジオイデス症、パラコクシジオイデス症、フザリウム症(ヒアロビ赤真菌症)、blastomycosis、ペニシリウム症またはスポロトリクス症を含む、項目 26 記載の方法。

(項目 28)

前記接合真菌症が、ムコール症をさらに含む、項目 27 記載の方法。

(項目 29)

前記ムコール症が、脳型ムコール症、肺ムコール症、胃腸ムコール症、播種性ムコール症、骨ムコール症、縦隔ムコール症、気管ムコール症、腎臓ムコール症、腹膜ムコール症、上大静脈ムコール症または外耳炎ムコール症を含む、項目 28 記載の方法。

(項目 30)

前記ムコール症が、ケカビ目内の感染性因子に関連する、項目 29 記載の方法。

(項目 31)

前記ケカビ目内の因子が、Rhizopus oryzae (Rhizopus arrhizus)、Rhizopus microsporus 变種 rhizopodiphoroides、Absidia corymbifera、Apophysomyces elegans、Mucor 種、Rhizomucor pusillus および Cunninghamhamella 種 (Cunninghamella 科) からなる Rhizopus 種から選択される、項目 30 記載の方法。

(項目 32)

前記カンジダ症が、Candida albicans、Candida krusei、Candida tropicalis、Candida glabrata および Candida parapsilosis からなる Candida 種から選択される感染性因子に関連する、項目 27 記載の方法。

(項目 33)

前記アスペルギルス症が、Aspergillus fumigatus、Aspergillus flavus、Aspergillus terreus、Aspergillus nidulans および Aspergillus clavatus からなる Aspergillus 種から選択される感染性因子に関連する、項目 27 記載の方法。

(項目 34)

前記鉄キレート化合物が、デフェリブロンまたはデフェラシロクスを含む、項目 26 記載の方法。

(項目 35)

前記抗真菌剤が、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキサンディン抗真菌剤から選択される、項目 26 記載の方法。

(項目 36)

前記ポリエン抗真菌剤が、アンホテリシン B デオキシコール酸塩、リポソームアンホテリシン B、アンホテリシン B 脂質複合体またはアンホテックから選択される、項目 35 記載の方法。

(項目 37)

前記アゾール抗真菌剤が、ボサコナゾール、ボリコアゾール (voriconazole)、フルコナゾールまたはイトラコナゾールから選択される、項目 35 記載の方法。

(項目38)

前記エキノキヤンディン抗真菌剤が、カスボファンギン酢酸塩またはミカファンギンから選択される、項目35記載の方法。

(項目39)

2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物をさらに含み、各鉄キレート化合物が、前記真菌症に対する非シデロフォアまたは非異種シデロフォアを含む、項目26記載の方法。

(項目40)

前記2つまたはそれ以上の鉄キレート化合物が、デフェリプロンまたはデフェラシロクスを含む、項目39記載の方法。

(項目41)

2つまたはそれ以上の抗真菌剤をさらに含む、項目26記載の方法。

(項目42)

前記2つまたはそれ以上の抗真菌剤が、ポリエン抗真菌剤、アゾール抗真菌剤またはエキノキヤンディン抗真菌剤から選択される、項目41記載の方法。

(項目43)

前記抗真菌剤が、アンホテリシンBデオキシコール酸塩、リポソームアンホテリシンB、アンホテリシンB脂質複合体、アンホテック、ポサコナゾール、ボリコアゾール、フルコナゾール、イトラコナゾール、カスボファンギン酢酸塩またはミカファンギンから選択される、項目42記載の方法。

(項目44)

前記予防が、前記真菌症の発症の前に、前記少なくとも1つの鉄キレート化合物および少なくとも1つの抗真菌剤を予防的に投与することを含む、項目26記載の方法。